

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和4年度		
施設名	秋田県北部男女共同参画センター	設置年	平成 14 年
所在地	秋田県大館市宇馬喰町48-1		
指定管理者	特定非営利活動法人秋田県北エヌピーオー支援センター		
県所管課	次世代・女性活躍支援課 女性活躍・両立支援 チーム		

1 施設の概要

設置目的	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動に自主的に参画する機会が確保され、かつ、共に責任を担うべき男女共同参画社会の形成を推進しようとする団体等に対し男女共同参画社会の形成に関する情報及び研修の機会を提供するとともに、その団体等の交流その他の活動を支援するために設置する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 男女共同参画に関する情報や研修機会の提供とともに、活動団体相互の交流やその活動の支援を実施するなど、地域に密着した男女共同参画を推進するための拠点として重要な役割を担っている。					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの ・男女共同参画に関する情報や研修機会の提供、団体の活動支援 ・地域における女性活躍や両立支援の意識醸成 ・地域住民や市町村、関係団体等の連携による地域ネットワークの機能強化					
施設の面積	敷地面積492.87㎡、建築面積368.05㎡					
主な設置施設	研修室、団体・グループ活動室、交流サロン、託児室、ワーキングルーム、情報交流スペース					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） 無 （指定管理料制）				
	料金設定	別紙のとおり				
	サウンディング実施対象施設※	×	←○、×を記入			
	指定期間	令和3年4月1日	～	令和6年3月31日		
	営業期間・時間	午前9時から午後9時（土日休日は午前9時から午後5時） 休館日：毎週木曜日、12月29日から1月3日				
	1. 使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務 3. 男女共同参画社会の形成に関する情報の提供及び研修に関する業務 4. 男女共同参画社会の形成を推進しようとする団体等の交流その他の活動の支援に関する業務 5. その他センターの管理に関し知事が必要と認める業務					
自主事業の内容	乳がんサロン「ピンクリボン結びの会」をセンターで開催（偶数月第3土曜日） デートDV予防のために高校への講師派遣 男女共同参画副読本を活用する小・中学校へ講師派遣 市町村が主催する事業への協力 あきたF・F推進員への情報提供、講師資料作成サポート					
直近3年の年間利用者数	R 2	12,814 人	R 3	14,734 人	R 4	17,172 人
直近3年の年間料金収入	R 2	101 千円	R 3	121 千円	R 4	134 千円
直近5年の収支決算（単位：千円）	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4	
収入計		10,269	10,269	10,460	10,439	10,499
利用料収入						
指定管理料		10,269	10,269	10,460	10,439	10,439
その他収入						60
支出計		10,269	10,269	10,460	10,439	10,499
人件費		6,740	6,999	7,443	6,943	7,168
人件費以外		3,529	3,270	3,017	3,496	3,331
差引		0	0	0	0	0

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング（官民対話）を実施する。

2 観点ごとの評価

(観点 I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 19,000人
----------	--------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	20,800	16,640	19,000
	実績	19,515	12,814	14,734
	達成率	93.8%	77.0%	77.5%
令和4年度の実績	実績	17,172人	達成率	90.4%
	具体的な取組とその効果	利用者目標19,000人に対し、90%の達成率であった。アフターコロナを見据えて新たな利用者を獲得するため、利用相談などにも積極的に乗り、口コミでの利用促進を強化し、ニーズ把握などに取り組んだ。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	19,000人		
	設定根拠	令和4年度は、コロナ禍で利用に波があり目標を達成することができなかったが、利用者数は回復傾向にあることから、令和5年度は、若い世代や新たに利用する団体を増やすように努めるとともに、市町村やあきたF・F推進員と連携し周知活動を進め、引き続き利用者数19,000人の達成を目指す。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

(観点 I) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	新型コロナウイルスの影響により、対面での活動が停滞する団体が増え、利用離れが進んだため、目標を達成することはできなかった。今後は、利用の再開を促しつつも、新たな利用者の獲得を目指す必要がある。職員の目が届く、気配りのある安心・安全のセンター運営を心掛け、目標達成を目指す。
県(所管課)	B	新型コロナウイルスの影響により、目標を達成することはできなかったものの、利用者数は回復傾向にある。コロナ禍の収束に伴い、目標の達成に向けてセンターの適正な運営や施設の周知に引き続き努めてもらいたい。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

（観点Ⅱ）施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度	R2年度	R3年度
	93.9%	89.2%	92.3%
令和4年度の実績	実績	90.90%	
	具体的な取組とその効果	来館者への声掛けを意識して行っており、利用者が気になったことなどを話しやすい雰囲気づくりを心がけている。そのため、利用する上で、困ったこと（デジタル機器の簡単な操作補助や団体紹介など）に対してスピード感を持って対応できたことが、満足度の高さに繋がっているものと考えている。	

（観点Ⅱ）の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
県 (所管課)	A		利用者が安心して利用することができる環境整備や雰囲気づくりに努めており、満足度も高水準を維持していることは高く評価できる。引き続き、利用者の立場に立った運営を行い、満足度の向上に取り組んでもらいたい。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

（観点Ⅲ）効率性の向上等に関する取組

（1）経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	業務の効率化を図ることで、残業など時間外労働を減らす取り組みを行い、人件費の増大を3%に抑えた。また、作業の効率化に伴い、ペーパーレス化についても取り組みを進め、コピー費は9%減少した。
	具体的な取組とその効果	声掛けや情報共有をこまめに行い、それぞれが抱える仕事量を把握して役割分担を行ったため、残業はほぼない状態であった。また、作業の効率化（ペーパーレス化の検討）を図り、コピー費を減少させることができた。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

（2）収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	
	具体的な取組とその効果	

(観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	経費の低減について、ペーパーレス化の取り組みを進め、前年比でコピー費が9%減少した。これまでの経費を見直し、必要な部分に予算を効率的に使うことができるよう、経費削減の意識を持った運営をしていく。
	県(所管課)	B	経費の低減について、原油価格高騰や物価上昇の影響を受けつつも、消耗品費やコピー費などの項目では経費が低減されており、支出総額が前年比で0.6%の増加に抑えられたことから、B評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○人員配置 施設の管理・運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていない。 ○職員の資質向上 定期的に男女共同参画に関連する講座・研修に参加している。 ○地域や関係団体等との連携 学習・研修の機会の提供に関して、令和4年度は、市町村担当者やあきたF・F推進員等の関係機関との連携に力を入れた。連携を図ることにより、県民に広くセンター事業を周知することができ、講座・研修等への参加を促すことができた。 ○安全対策 テーブルやイスの消毒、施設や備品の管理等を徹底し、安心・安全に利用できるセンター運営を心掛けた。 ○危機管理等 危機管理対応マニュアル及び緊急時連絡体制を整備している。
----------	--

(観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、指定管理業務は適正に行っており、利用者数も回復傾向で順調に推移している。引き続き、市町村やあきたF・F推進員との連携を深めながら、地域に根差した運営を行っていく。
	県(所管課)	A	職員による適切な管理運営が行われており、安全対策も講じられている。また、積極的に地域や関係団体との連携も図られており、円滑に業務を遂行している。

【評価基準】 A：順調(改善点なし)、B：概ね順調(重大な問題点なし)、C：改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等) ・男女共同参画を推進するための拠点として、目的に沿った講座・研修を開催しており、男女共同参画及び女性活躍に資する学習・研修機会が参加者に提供されている。 ・地域住民や市町村、関係団体との連携によって地域ネットワークの機能強化を図り、地域における男女共同参画の形成に向けた取組を推進している。
○施設運営の課題 ・若年層や企業関係者の利用、講座・研修への参加を促進していく必要がある。
○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等) ・男女共同参画に関する情報や研修機会を提供するとともに、より多くの方々に参加していただける講座や研修会を開催するなど、地域における女性活躍や両立支援の推進に努める。 ・地域住民や市町村、関係団体との連携を強化し、県民が主体的に男女共同参画の推進に取り組むことができるように普及啓発を強化する。

【外部有識者委員会による評価（提言）】

※外部有識者委員会の評価対象となる約20施設について記載

評価（提言）
○施設の管理運営状況について (（観点Ⅰ）～（観点Ⅳ）に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価（提言）を踏まえた今後の対応方針】

今後の対応方針
指定管理者 (施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課 (県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

別紙 利用料金表

北部・南部男女共同参画センター

時間 \ 使用目的	男女共同参画の推進に関する活動のための使用である場合	その他の場合
午前9時～正午	390円	1,170円
午後1時～午後5時	520円	1,560円
午前9時～午後5時	910円	2,730円
午後5時以降 1時間につき	110円	310円

中央男女共同参画センター

時間 \ 使用目的	男女共同参画の推進に関する活動のための使用である場合		その他の場合	
	全区画	1/2区画	全区画	1/2区画
午前9時～正午	2,370円	1,190円	7,140円	3,570円
午後1時～午後5時	3,160円	1,580円	9,520円	4,760円
午前9時～午後5時	5,530円	2,770円	16,660円	8,330円
午後5時以降 1時間につき	790円	400円	2,380円	1,190円